



平成29年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年3月14日

上場会社名 株式会社ファーストロジック
 コード番号 6037 URL <http://www.firstlogic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 坂口 直大
 (氏名) 斎藤 泰志

TEL 03-6833-4576

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第2四半期の業績(平成28年8月1日～平成29年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第2四半期	857	51.6	437	85.9	438	90.3	272	85.1
28年7月期第2四半期	565	35.4	235	0.3	230	1.6	147	2.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第2四半期	46.36	46.07
28年7月期第2四半期	26.45	24.93

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年7月期第2四半期	2,427	2,138	88.1	363.69
28年7月期	2,191	1,924	87.8	327.36

(参考)自己資本 29年7月期第2四半期 2,138百万円 28年7月期 1,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年7月期	—	—	—	—	—
29年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年7月期末配当金の内訳 記念配当 10円00銭

3. 平成29年7月期の業績予想(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	25.3	590	1.0	590	4.5	385	3.5	65.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年7月期2Q	5,881,200 株	28年7月期	5,880,200 株
29年7月期2Q	92 株	28年7月期	92 株
29年7月期2Q	5,880,275 株	28年7月期2Q	5,566,516 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済政策及び金融政策により、企業業績や雇用情勢が緩やかに回復しているものの、アメリカの経済政策、中国や新興国の景気減速感等の影響により先行きは不透明な状態にあります。

このような環境の下、当社は「公正な不動産投資市場の構築」をビジョンとして、不動産投資ポータルサイト「楽待」を運営してまいりました。

「楽待」では、「楽待新聞」やメールマガジンを通じて不動産投資家への有益なコンテンツの提供を充実させ会員数の増加を図るとともに、不動産会社への営業強化を行ってまいりました。また、投資用不動産の管理・運営をサポートする一括見積サービスにおいて、多数の成約事例を掲載することができ、「楽待」の利用価値向上に寄与しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は、857,620千円（前年同四半期51.6%増）となり、営業利益は437,208千円（前年同四半期85.9%増）、経常利益は438,577千円（前年同四半期90.3%増）、四半期純利益は272,584千円（前年同四半期85.1%増）となっております。また、第2四半期のページビュー（PV）数は25,975千PV（前年同期比11.4%増）、「楽待」ウェブサイト会員数は84千人（前年同期比33.8%増）、物件掲載数は62千件（前年同期比49.0%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は2,427,191千円となり、前事業年度末と比較しても235,201千円の増加となりました。その主な原因は、以下のとおりであります。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は2,172,494千円となり、前事業年度末と比較して140,754千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が91,234千円増加、売掛金が38,824千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は254,696千円となり、前事業年度末と比較して94,446千円の増加となりました。これは主に、敷金が94,215千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は270,431千円となり、前事業年度と比較して3,333千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が35,614千円増加、賞与引当金が15,400千円減少、前受金が12,371千円減少、未払費用が7,579千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債は17,884千円となり、前事業年度末と比較して17,884千円の増加となりました。これは、本社移転損失引当金が17,884千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は2,138,875千円となり、前事業年度末と比較して213,983千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が213,783千円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して91,234千円増加し、1,844,143千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動による資金は、244,097千円の収入（前年同期は54,249千円の収入）となりました。これは主として、税引前四半期純利益を420,692千円、売上債権の増加額38,824千円、賞与引当金の減少額15,400千円、法人税等の支払額116,959千円が生じたこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動による資金は、94,261千円の支出(前年同期は3,795千円の支出)となりました。これは敷金及び保証金の差入による支出96,000千円、有形固定資産の取得による支出1,516千円、保険積立金の解約による収入3,254千円が生じたことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動による資金は、58,601千円の支出(前年同期は2,879千円の支出)となりました。これは新株予約権の行使による株式の発行による収入200千円、配当金の支払額58,801千円が生じたことによるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年9月14日公表の通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当社は、平成28年11月1日開催の取締役会で本社移転に関する決議を致しました。

この本社移転に伴い、移転後利用見込みのない建物附属設備及び当該資産の原状回復に係る資産除去債務につきましては、移転予定日までの期間で減価償却費及び資産除去債務の費用計上が完了するように当事業年度において耐用年数を変更しております。また、移転予定日後から契約終了日までの現在の本社の支払家賃につきましては、特別損失に計上しております。

これにより、従来の方法に比べて当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益が4,436千円及び税引前四半期純利益が22,320千円それぞれ減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,752,909	1,844,143
売掛金	238,635	277,460
貯蔵品	133	116
前払費用	8,079	9,639
繰延税金資産	26,533	23,123
その他	9,654	24,211
貸倒引当金	△4,205	△6,200
流動資産合計	2,031,739	2,172,494
固定資産		
有形固定資産	38,711	33,438
無形固定資産	20,294	19,822
投資その他の資産		
敷金	99,127	193,342
繰延税金資産	217	8,093
その他	1,899	—
投資その他の資産合計	101,244	201,435
固定資産合計	160,249	254,696
資産合計	2,191,989	2,427,191
負債の部		
流動負債		
未払金	28,053	36,226
未払費用	24,357	16,777
未払法人税等	116,167	151,782
未払消費税等	31,591	26,512
前受金	22,650	10,278
預り金	5,277	5,254
賞与引当金	39,000	23,600
流動負債合計	267,097	270,431
固定負債		
本社移転損失引当金	—	17,884
固定負債合計	—	17,884
負債合計	267,097	288,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	83,302	83,402
資本剰余金	966,560	966,660
利益剰余金	875,233	1,089,016
自己株式	△203	△203
株主資本合計	1,924,891	2,138,875
純資産合計	1,924,891	2,138,875
負債純資産合計	2,191,989	2,427,191

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)
売上高	565,753	857,620
売上原価	43,391	64,057
売上総利益	522,362	793,562
販売費及び一般管理費	287,209	356,354
営業利益	235,152	437,208
営業外収益		
受取利息	136	8
消費税差額	240	—
保険解約益	—	1,355
雑収入	—	4
営業外収益合計	376	1,368
営業外費用		
一部指定関連費用	5,090	—
営業外費用合計	5,090	—
経常利益	230,439	438,577
特別損失		
本社移転損失引当金繰入額	—	17,884
特別損失合計	—	17,884
税引前四半期純利益	230,439	420,692
法人税、住民税及び事業税	71,625	152,574
法人税等調整額	11,565	△4,465
法人税等合計	83,191	148,108
四半期純利益	147,248	272,584

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	230,439	420,692
減価償却費	8,116	9,761
一部指定関連費用	5,090	—
保険解約益	—	△1,355
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,823	1,995
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,500	△15,400
本社移転損失引当金の増減額(△は減少)	—	17,884
受取利息及び受取配当金	△136	△8
売上債権の増減額(△は増加)	△29,394	△38,824
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45	16
未払金の増減額(△は減少)	△437	8,172
未払費用の増減額(△は減少)	△2,543	△7,579
前受金の増減額(△は減少)	△17,672	△12,371
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,634	△5,079
その他	△9,420	△16,855
小計	168,684	361,048
利息及び配当金の受取額	136	8
法人税等の支払額	△114,571	△116,959
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,249	244,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
敷金及び保証金の差入による支出	—	△96,000
敷金及び保証金の回収による収入	7,251	—
有形固定資産の取得による支出	△5,051	△1,516
無形固定資産の取得による支出	△5,995	—
保険積立金の解約による収入	—	3,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,795	△94,261
財務活動によるキャッシュ・フロー		
一部指定関連費用の支払額	△4,000	—
自己株式の取得による支出	△111	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,232	200
配当金の支払額	—	△58,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,879	△58,601
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	47,574	91,234
現金及び現金同等物の期首残高	1,445,910	1,752,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,493,484	1,844,143

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日)

当社は、不動産投資ポータルサイト事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)

当社は、不動産投資ポータルサイト事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。